

みたか国際化円卓会議第 14 期 第 3 回会議録要旨

日 時	令和 8 年 2 月 10 日（火） 18：30～20：00
会 場	三鷹市教育センター 3 階 第三中研修室
出席者	委員 10 名（欠席委員 6 名）、事務局 4 名 傍聴 1 名

【当日配布資料】

(資料 1) 外国籍市民がより地域参加しやすくなるためのワークショップ

(資料 2) みたか国際化円卓会議第 14 期 第 2 回会議録要旨

(資料 3) みたか国際化円卓会議第 14 期委員名簿

【記号について】

○	委員の発言
●	事務局の発言
→	発言に対する返答

【議事内容】

1 新規委員によるショートスピーチ

2 外国籍市民がより地域参加しやすくなるためのワークショップ

●身近な地域活動やイベントに外国籍市民をはじめ多様な人が参加し、地域への関心やつながりを深められる環境づくりについて意見を伺いたい。担い手不足や人間関係の希薄化が進む中、誰もが地域の一員として関わり、三鷹市をより好きになり、ともに地域を盛り上げられる社会が理想と考えている。その過程には「参加する」「継続する」「運営に関わる」「コミュニティをつくる」といった段階があるが、まずは参加経験のない人が参加しやすく、また、参加したくなる環境整備について、“ゼロから 1”の第一歩を中心に議論したいと考えている。資料 1 に記載の視点(1)～(3)を参考に、意見を出し合っていただきたい。

- (1) すでに参加している活動、または参加してみたい活動はありますか？
- (2) 参加することへのハードルだと感じることは何ですか？
- (3) どうしたら、地域参加がしやすくなると思いますか？

【以下、各グループの発表内容】

グループ A（発表：事務局 山際）

- (1) すでに参加している活動、または参加してみたい活動はありますか？

温泉ツアー／MISHOP のスキーツアー／町会や住民協議会への参加／大使館主催のイベント／趣味を通じた活動（山登り、テニス、カヤック、社交ダンスなど）／日曜カフェの開催

- (2) 参加することへのハードルだと感じることは何ですか？

言語面の不安／友人や知人からの誘いがないと参加しづらい／イベントに参加してよいか分かりにくい／文化の違いへの戸惑い／場の雰囲気や空気感が分からず、参加をためらってしまう

- (3) どうしたら、地域参加がしやすくなると思いますか？

開催予定のイベント一覧があると良い／映画上映会やお祭りなど、魅力的なイベントの実施

／日本人住民からの積極的な声かけや誘い／さまざまな国籍の人が交流できる居場所づくり

グループB（発表：ZHANG 委員）

(1) すでに参加している活動、または参加してみたい活動はありますか？

初詣／防災訓練／お祭り／ラジオ体操／ホテル鑑賞／野川の散歩／サイクリングツアー／阿波踊り

(2) 参加することへのハードルだと感じることは何ですか？

イベントのスケジュールが分かりにくい／参加方法や申込窓口が分からない／言語面の不安

(3) どうしたら、地域参加がしやすくなると思いますか？

広報みたかやLINE、X、Instagramなどを活用した情報発信／駅やバスへのポスター掲示／イベントの月間カレンダー作成／情報発信媒体や情報量を充実させる／多言語での情報提供

●各グループの発表を踏まえて、重要と思われる内容や次回の会議でさらに深めていきたい内容について、ご意見をいただきたい。

○広報みたかの多言語版はあるのか？

→●ホームページは多言語翻訳できるようになっている。ホームページを多言語化したタイミングで、広報みたかの英語版を廃止した。ただし、ホームページを多言語で見える方はそれほど多くはないと感じている。プッシュ型でいかに情報を届けていくかが重要だと考えている。

○三鷹市の公式LINEやXがあることを今日のワークショップで知った。SNSで情報を受け取ることができるのは大事だが、一方でSNSは情報が多すぎるという欠点もあるという話も挙がった。

○三鷹市にインフルエンサーがいると良いのではないか。

○情報を多く出すことは良いことだと思うが、例えばイベントの情報でも、どのような人の参加が求められているかなど、自分に合った情報かどうかを判断するための具体的な内容が伝わる必要があると思う。

○三鷹市に来たばかりの外国籍市民が、知り合いもおらず、日本語もそれほど分からないなか、何かしたいけれどどこに聞けば良いか分からない、という場合は、どのように情報を得るのか。

→●MISHOPが最初の窓口になる。

→○三鷹市に来たばかりの外国籍市民は、MISHOPの存在自体を知らないと思う。重要なのはどのように情報を届けるかである。今はスマートフォンで情報を得る人が多いので、例えば三鷹市ホームページにQRコードを載せ、必要な情報はそこから入手できるようにすると良い。複雑な内容だと読み切れないので、情報の入手方法、内容のいずれも「simple&easy」であることが大事である。

→○外国籍市民の方が、三鷹市に引越してきた時にまずどこに行くのかを考えてみると、やはり市役所だと思う。例えばMISHOPの出先機関を市役所に置くことも一つの方法ではないか。

→○三鷹市役所で転入者に最初に配付する書類の中に、三鷹市公式LINEやMISHOPの公式ホームページなど必要な情報をひと通り掲載しておき、自分に必要なものを選んでアクセスしてもらえるような、情報が一覧できる案内を用意するとよいのではないか。

→●転入手続きの時に必要な書類一式を配布していると思うが、必要な情報が他の多くの書類に埋もれてしまっているところもあると思う。その人にとって一番伝わりやすいかたちや内容でお伝えできるとよいが、多くの転入者がいる中では、一律で対応せざるを得ない状況はある。

○地域の掲示板など、市民の目に触れる場所にMISHOPの案内を掲示するのはどうか。多言語で案内を載せれば、日本語が分からない人にも情報を伝えられるのではないか。

○広報みたかは市内で全戸配布されるが、住民協議会が発行する広報紙も、対象の住区内に全戸配布される。市民に必ず届く媒体は非常に貴重な情報源だと思うので、例えばやさしい日本語で地域の活動を紹介するなど、私たちにも出来ることだと思う。

○プッシュ型の情報発信として、例えば外国籍市民を対象にアンケートを取ることはできるのか？
「こういうことをやりたい」という回答に応じて、その人に合った情報発信ができるのではと思う。

→●過去には MISHOP 経由でアンケート調査を行った事例はあったかもしれないが、外国籍市民を対象とした場合は、個人情報の面で難しい面もあると思う。

○MISHOP の存在が広く市民に広まってほしいという意見に賛成である。地域の活動に参加する上で、自分が所属するグループとして参加する時には抵抗感はないが、一人で行くのは心細さを感じる。どこにも所属せず一人で三鷹市に来て生活している人は、地域のイベントには参加しづらいと思う。

→○「一人参加 OK」などの案内があれば参加しやすくなると思う。

→○「外国籍市民歓迎」など書いてあると参加しやすい。

→○発信する側もそうした工夫をする必要がある。

→●活動の雰囲気などを伝えやすい意味でも、SNS は合うのかもしれない。

○三鷹市に来て必ず行く市役所で、三鷹市の公式 SNS を案内し、SNS 上で地域の情報を分かりやすく、また多言語で載せておくことで、外国籍市民にとってもだいが参加しやすくなるのではないか。情報の公開場所と分かりやすい内容、この2つにフォーカスして取り組めば、外国籍市民の地域参加も増え、三鷹市ももっと盛り上がっていくと思う。

→●円卓会議委員の皆さんのように市政に関わってくださっている方でも、市の公式 SNS を知らないということが分かり、現状の情報発信に課題があると分かった。皆さんが必ず立ち寄る場所での周知が重要だと感じる。

→○駅やバス停などでの周知も効果的だとの意見も以前あったと思う。駅やバス車内の広告スペースを活用するのも、目について良いのではないか。

3 その他

●次回は来年度、夏頃に開催予定である。開催時期が近くなったら改めて連絡する。次回の協議内容については、本日のご意見を踏まえて正副座長と検討して決定する。

以上